



# アップグレードとダウングレード

ここでは、Cisco UCS リリース 3.2 へのアップグレードまたはダウングレードが与える、このリリースで導入された新しいロールと特権への影響について説明します。

## アップグレードによるロールおよび権限への影響

Cisco UCS Manager を以前のリリースから Cisco UCS 3.2 へアップグレードすると、`server-compute` ロールが Cisco UCS Manager のデフォルトロールのリストに追加されます。デフォルトで、次の特権が `server-compute` ロールに割り当てられます。

- サービス プロファイルの計算 (`ls-compute`)
- サービス プロファイルのサーバ操作 (`ls-server-oper`)
- サービス プロファイルのサーバポリシー (`ls-server-policy`)

次の新しい特権が、新規または既存のロールに追加できる特権リストに追加されます。

- 組織管理 (`org-management`)
- サービス プロファイルの計算 (`ls-compute`)

## ダウングレードによる新しいロールへの影響

Cisco UCS Manager を Cisco UCS リリース 3.2 から以前のリリースにダウングレードする場合は、次のことが起こります。

- `server-compute` ロールに変更を加えていない場合、そのロールは削除され、ダウングレードされた Cisco UCS Manager で使用できなくなります。このロールを持つすべてのユーザに、読み取り専用の特権が割り当てられます。
- 特権を追加または削除して `server-compute` ロールをカスタマイズした場合、`server-compute` ロールはダウングレードされた Cisco UCS Manager に残り、ロールに追加された特権を保持します。
- `server-compute` ロールに、Cisco UCS リリース 3.2 で追加された特権のいずれかが含まれている場合、これらの特権はダウングレード時にロールから削除されます。

### ダウングレードによる新しい権限を割り当てられたユーザへの影響

Cisco UCS リリース 3.2 から以前のリリースに Cisco UCS Manager をダウングレードする場合、新しい特権はダウングレードされた Cisco UCS Manager では使用できません。新しい特権を含むロールが割り当てられたユーザには、次のことが起こります。

- ロールに以前のリリースで使用可能なその他の特権が含まれている場合、ロールおよびユーザにはそれらの特権が保持されます。
- ロールに以前のリリースで使用可能なその他の特権が含まれていない場合、ロールおよびユーザには読み取り専用の特権が割り当てられます。

### ダウングレード後に Cisco UCS リリース 3.2 へアップグレードした場合の影響

Cisco UCS Manager を Cisco UCS リリース 3.2 をダウングレードした後に、アップグレードして Cisco UCS リリース 3.2 に戻す場合、新しいロールまたは特権が割り当てられていたユーザには次のことが起こります。

- **server-compute** ロールがダウングレード中に削除された場合、ユーザは読み取り専用の特権を保持します。ユーザに **server-compute** ロールを再割り当てする必要があります。
- **server-compute** ロールがダウングレード中に削除されなかった場合、ユーザは以前のリリースからの特権を保持します。ただし、そのロールにはサービス プロファイルの計算 (**ls-compute**) 権限が再割り当てされません。**server-compute** ロールにその特権を手動で割り当てる必要があります。**server-compute** ロールに割り当てられている他の特権はすべて保持されます。
- サービス プロファイルの計算 (**ls-compute**) または組織管理 (**org-management**) のいずれかでユーザにカスタム ロールを割り当てた場合、ユーザは読み取り専用権限を保持します。カスタム ロールに手動で新しい特権を割り当てる必要があります。